

消防団たずね歩き



兵庫消防団
第4分団 副分団長
高橋晃治

消防団幹部候補中央特別研修に参加して

2月8日から10日までの3日間、日本消防協会主催で消防団幹部候補中央特別研修が開催されました。会場の日本消防会館には全国から123人も消防団員が集まりました。

研修では、アメリカでの消防団員の立場がかなり高いこと、幼児から防災教育が政策的に実施されていること、消防団用多目的積載車の導入などの紹介がありました。また、各消防団の活動内容についての報告及び情報交換などもあり、有意義な研修でした。

参加者のひとりとして、特に印象に残った「子どもたちに対する火災予防教育」についてご紹介させていただきます。

(1) 子どもが火災から自らを守るための対処方法

衣服に火がついたら「止まる」(動かないことで火の勢いを止める)、「倒れる・転がる」(倒れることで接地面を増やし、転がることで消火する)を教える。

(2) 火の怖さと、それを乗り越えるための智慧

さまざまなツールを使い、自らの目で見て、耳で聞いて手で触って覚えさせる。

・煙の恐ろしさ、動きをシーツを使ってわかり

やすく体験させる。

- ・煙の中を、身を低くして進ませる。
- ・ドアを触り、熱ければそのドアを使わず他の逃げ口を探させる。

(3) 大脱走ゲーム

ゲーム感覚で、ドアの開け方、避難の仕方、助けの待ち方などを子どもが自分で考え、サバイバルできるよう体験させる。

私は、この「子どもたちに対する火災予防教育」に感銘を受け、さっそく分団員に研修をおこない、この分団員の協力を得て、区内の保育所で防火教室を開催しました。また保育士さんを対象に勉強会も開催させていただき、かなり高い評価を得ることができました。今年度中に、区内の他の保育所でも防火教室を開催することになっています。

全国の新聞記事から「子どもの火遊びによる火災や焼死」がなくなるように、兵庫消防団として積極的に取り組み、この火災予防教育を全国に普及させていきたいと思えます。



保育所での防火教室風景



地域に根付いた消防団を目ざしています!

～地域住民の安全・安心を確保するために～



神戸市消防局
神戸市消防団

